

お知らせ information

スポーツ推進計画 策定委員募集

市では、スポーツ推進計画の策定に伴い、学識経験者、スポーツ関係団体等で構成する同計画策定委員会を設置します。

このたび、公募委員を募集します。

募集人員 3人(選考)

対象 市内在住・在勤・在学で、平成28年7月15日現在18歳以上の方

※すでに市が設置している附属機関等の委員の方は、原則として一つまでしか他の附属機関の委員を兼ねることができません。(臨時的・限定的に設置される附属機関は、その他に一つに限り兼ねることがあります)

※市の関係者を除く。
任期 委嘱日(平成29年3月31日)
 ※開催頻度など詳しくはお問い合わせください。か、市ホームページをご覧ください。

報酬 1万円(1回)
応募用紙配布 7月15日から、生涯学習課(市役所第二)

※別途通勤に要する経費をが定める日を除く)
報酬(月額) 16万3千800円
 ※別途通勤に要する経費を



川上秀一氏 副市長を退任

川上秀一氏が、平成28年6月30日をもって副市長を退任しました。
 同氏は、平成26年4月に副市長に就任し、以来2年3か月にわたって、市政発展のために尽力されました。

条件により支給します。
応募要件 ▽65歳定年制のため、昭和26年4月2日以降に生まれた方 ▽パソコン操作(ワード、エクセル)ができる方
 ※国籍は問いません。

採用予定人数 1人
面接試験日 8月23日(火)
採用予定日 9月2日(金)
要項(申込書)配布・応募受付 8月12日(金)までの午前8時30分～正午、午後1時～5時(土曜・日曜・祝日を除く)に、庶務課(市役所第二庁舎7階)で、郵送による応募(12日必着)も受け付けます。

※要項は、配布期間中に限り、市ホームページからもダウンロードできます。
問合先 庶務課庶務係(〒184-18504住所不要 ☎042-387-19872)

廃棄物減量等推進審議会 委員選任結果
 公募委員選考基準により、次の方々を委員に選任しました。

▽山田英夫さん、吉田孝さん、北澤和己さん、杉本久也さん、石田潤さん(いずれも9月30日)
 ※開催頻度など詳しくはお問い合わせください。その他 謝礼あり

非常勤嘱託職員募集 学校事務(産休代替)
勤務時間 1年単位の週あたり平均労働時間30時間(土曜・日曜・祝日および所属長が定める日を除く)

非常勤嘱託職員募集 学校事務(産休代替)
勤務時間 1年単位の週あたり平均労働時間30時間(土曜・日曜・祝日および所属長が定める日を除く)

非常勤嘱託職員募集 学校事務(産休代替)
勤務時間 1年単位の週あたり平均労働時間30時間(土曜・日曜・祝日および所属長が定める日を除く)

非常勤嘱託職員募集 学校事務(産休代替)
勤務時間 1年単位の週あたり平均労働時間30時間(土曜・日曜・祝日および所属長が定める日を除く)

福社会館の閉館に伴う事業所等の移転

詳細については、各担当課等にお問い合わせください。

移転日 7月25日(月)
 ※同日より下記住所にて事業を行います。
移転先住所 本町5-36-17
移転機能等 ①社会福祉協議会事務局②権利擁護センター③ボランティア・市民活動センター④自立相談サポートセンター⑤市民協働支援センター準備室⑥悠友クラブ連合会事務局
問合先 ①～④について=社会福祉協議会事務局(☎042-386-0294)、地域福祉課地域福祉係(☎042-387-9915)⑤について=コミュニティ文化課文化推進係(☎042-387-9923)⑥について=悠友クラブ連合会事務局(☎042-301-6363=7月25日から)、介護福祉課高齢福祉係(☎042-387-9843)

公募市民)
問合先 ごみ対策課減量推進係(☎042-387-98335)
男女共同参画情報誌「かたらい」市民編集委員募集
 男女が共にいきいきと暮らせる社会をめざして、男女共同参画情報誌「かたらい」を年2回(春・秋)発行していきます。

この「かたらい」の企画・取材・原稿執筆等を行う市民編集委員を募集します。またにあふれる楽しい情報を一緒に発信していきます。



募集人数 5人(選考)
対象 市内在住・在勤・在学で、平成28年7月15日現在18歳以上の方
任期 10月1日～平成30年9月30日
 ※開催頻度など詳しくはお問い合わせください。その他 謝礼あり

三市連携コミュニティ サイクル促進事業のパンフレット掲載店募集
 コミュニティサイクル促進事業とは、街なかに複数のサイクルポート(自転車貸出拠点)を設置し、どのサイクルポートでも自転車を利用・返却することができるものです。この事業を小金井市・調布市・三鷹市で連携して実施します。

これに伴い9月24日～11月27日に開催するイベントで配布する、サイクルポートの位置やエリア内の魅力を紹介するパンフレットに掲載するお店を募集します。

応募資格 市内に所在し、次のいずれかを満たす店舗
 ▽駐輪スペースがある、またはJR東小金井駅から400以内にある飲食店
 ▽持ち帰り用の料理やお菓子等を販売している店舗
募集店舗数 5店舗(多数抽選)

第31回夏季オリンピック競技大会(ブラジル・リオデジヤネイロ)出場決定
 市内在住で日本郵政グループ女子陸上部所属の鈴木亜由子さん(女子1方、同5千)と関根花観さん(同一方)が、8月開催の同大会への出場が決定しました。両選手が活躍できるように応援しましょう。

問合先 生涯学習課スポーツ振興係(☎042-386-2462)

公民館本館・貫井南分館 臨時休館
 公民館本館と貫井南分館は、東京都知事選挙の実施に伴い、臨時休館します。
休館日 7月30日(土)・31日(日)

問合先 公民館本館(☎042-383-1184)、公民館貫井南分館(☎042-383-1168)

「青少年のための科学の祭典」東京大会in小金井 ロゴマーク募集
 10月9日に東京学芸大学を会場に開催される同大会では、11回目の開催を記念して、ロゴマークを募集します。応募方法や大会の詳細等については、同大会ホームページ(http://www.n-gakugei.ac.jp/~ascst/ysf/)をご覧ください。

テーマ 科学が楽しく親しみやすいものであることをイメージできるもの
対象 小学生以上の方
問合先 応募について=同大会実行委員会事務局・本川(☎090-7944-1190)、事業について=生涯学習課生涯学習係(☎042-387-9879)

第31回夏季オリンピック競技大会(ブラジル・リオデジヤネイロ)出場決定
 市内在住で日本郵政グループ女子陸上部所属の鈴木亜由子さん(女子1方、同5千)と関根花観さん(同一方)が、8月開催の同大会への出場が決定しました。両選手が活躍できるように応援しましょう。

問合先 生涯学習課スポーツ振興係(☎042-386-2462)

問合先 生涯学習課スポーツ振興係(☎042-386-2462)

問合先 生涯学習課スポーツ振興係(☎042-386-2462)

問合先 生涯学習課スポーツ振興係(☎042-386-2462)

去る5月31日、天皇皇后両陛下が小金井市を訪問になりました。天皇皇后両陛下がご一緒に出されることを「行幸啓」と言いますが、今回の行幸啓は天皇陛下(当時皇太子殿下)が小金井にお住まいになつてからちょうど70年の節目のこととなります。

行幸啓に際し、篠原議長と共に、お出迎え、ご視察の同行、ご会食、お見送りの役を賜ったことは、大変に名誉であり、生涯忘れ得ない、かけがえのない体験でした。また、両陛下がお召し上がりになった昼食には、江戸東京野菜や小金井産の野菜が使われており、大変嬉しい限りでありました。両陛下は、お会いになった人々には常に笑顔でお応えになり、また皇后陛下は、子どもがいる時にはすぐそばまで行かれ、愛眼と笑顔で接し、時にはほっぺたに手を触れておられ、私はその優しいお姿を拝見し、深く感銘いたしました。

さて、先日、市の平成28年4月現在の待機児童数を4人と発表しました。昨年同時期の待機児童数は4人で、同年度中に4人の定員増を含むさまざまな対策を行いました。10人の減少にとどまりました。入所できなかつた方々には、心よりお詫びを申し上げます。待機児童が解消されない背景には、転入増や働きたい

と願う保護者の増加等があり、現在も入園希望者は増加しています。若人世代の方々にしても住み続けたいと願われるまちをめざし、今後もしっかりと将来予測を行いながら、平成29年4月時点での待機児童ゼロに向けて、民間保育園の新設や既存園での対策等、あらゆる方策を複合的に取り組んでまいります。

小金井が子どもたちの笑顔あふれるまちでありたいと思います。子どもたちは、小金井の宝であり、私は、小金井を見守る者として、小金井を児童遊園や子ども広場、公園など、遊びを通してさまざまな経験ができる場が多いまち、子どもの元気な笑い声があふれる、笑顔のあるまちにしたいと考えております。

天皇陛下ゆかりの地でもある小金井市が子どもたちにとっても最良のまちであり、市民・地域の力が活かされた子育て環境日本一となるよう奮闘してまいります。市民の皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

こがねい未来通信
 2

去る5月31日、天皇皇后両陛下が小金井市を訪問になりました。天皇皇后両陛下がご一緒に出されることを「行幸啓」と言いますが、今回の行幸啓は天皇陛下(当時皇太子殿下)が小金井にお住まいになつてからちょうど70年の節目のこととなります。行幸啓に際し、篠原議長と共に、お出迎え、ご視察の同行、ご会食、お見送りの役を賜ったことは、大変に名誉であり、生涯忘れ得ない、かけがえのない体験でした。また、両陛下がお召し上がりになった昼食には、江戸東京野菜や小金井産の野菜が使われており、大変嬉しい限りでありました。両陛下は、お会いになった人々には常に笑顔でお応えになり、また皇后陛下は、子どもがいる時にはすぐそばまで行かれ、愛眼と笑顔で接し、時にはほっぺたに手を触れておられ、私はその優しいお姿を拝見し、深く感銘いたしました。

さて、先日、市の平成28年4月現在の待機児童数を4人と発表しました。昨年同時期の待機児童数は4人で、同年度中に4人の定員増を含むさまざまな対策を行いました。10人の減少にとどまりました。入所できなかつた方々には、心よりお詫びを申し上げます。待機児童が解消されない背景には、転入増や働きたい

と願う保護者の増加等があり、現在も入園希望者は増加しています。若人世代の方々にしても住み続けたいと願われるまちをめざし、今後もしっかりと将来予測を行いながら、平成29年4月時点での待機児童ゼロに向けて、民間保育園の新設や既存園での対策等、あらゆる方策を複合的に取り組んでまいります。

小金井が子どもたちの笑顔あふれるまちでありたいと思います。子どもたちは、小金井の宝であり、私は、小金井を見守る者として、小金井を児童遊園や子ども広場、公園など、遊びを通してさまざまな経験ができる場が多いまち、子どもの元気な笑い声があふれる、笑顔のあるまちにしたいと考えております。

天皇陛下ゆかりの地でもある小金井市が子どもたちにとっても最良のまちであり、市民・地域の力が活かされた子育て環境日本一となるよう奮闘してまいります。市民の皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

小金井市長
西田真一郎